

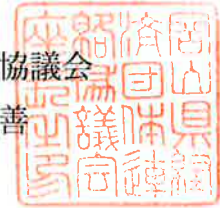
令和4年2月28日

岡山県知事 伊原木 隆太 殿

岡山県経済団体連絡協議会

座長 中 島 基 善

構成団体



一般社団法人岡山県商工会議所連合会

岡山県経営者協会

一般社団法人岡山経済同友会

岡山県中小企業団体中央会

岡山県商工会連合会

感染症対策と社会経済活動の回復に向けた緊急要望

新型コロナウイルス感染症について、岡山県においては感染初確認からまもなく2年を迎えようとしている。当初は未知のウイルスにより全ての社会経済活動を制限するしかなかったが、伊原木知事ほか行政関係者の指揮の下、現場の医療従事者の懸命な努力と行動制限に対する県民の理解により、幾度となく繰り返される流行の波を乗り越えてきた。

これまで多くの犠牲を払ってきた感染症とその対策ではあるが、県内経済の動向は、新しい生活様式、加速するデジタル化などの生産性向上により一部の業種には持ち直しが見られる一方で、低迷する個人消費とともに、行動制限、時短要請などの影響を強く受ける対面型サービス業（運輸、観光、宿泊、飲食、小売、娯楽、生活関連サービス）などは、完全に取り残され回復困難な壊滅的状况にあり、県内の公共交通団体（鉄道、バス、タクシー、旅客船）からは、長引く人流抑制により地域の公共交通基盤の存続自体も危うくなる窮状を伺ったところでもある。

現在は、より感染力の高いオミクロン株に置き換わり、かつてない勢いで感染が拡大したが、明らかな減少傾向を示している状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の改善状況を見極めた上で、早期にまん延防止等重点措置が解除できますよう、変異を続けるウイルスの特性に応じた感染症対策とともに社会経済活動の回復に向けた早急な地域経済の支援の実行を要望する。

以 上